

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成29年11月24日(2017.11.24)

【公開番号】特開2017-182293(P2017-182293A)

【公開日】平成29年10月5日(2017.10.5)

【年通号数】公開・登録公報2017-038

【出願番号】特願2016-65948(P2016-65948)

【国際特許分類】

G 06 Q 10/10 (2012.01)

【F I】

G 06 Q 10/10 3 4 2

【手続補正書】

【提出日】平成29年10月10日(2017.10.10)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

ユーザが勤務中である時間帯を記憶する勤務時間記憶手段と、

ユーザの在席状況を取得する在席状況取得手段と、

前記在席状況取得手段により取得された在席状況に基づき、当該ユーザが在席していた時間帯を特定する在席時間特定手段と、

前記在席時間特定手段により特定された在席していた時間帯と、前記勤務時間記憶手段に記憶された勤務中である時間帯とに基づき、当該ユーザの勤務時間および在席時間を集計する集計手段と、

前記集計手段により集計された勤務時間および在席時間を通知する通知手段と、

を備えることを特徴とするテレワーク管理システム。

【請求項2】

前記集計手段は、前記ユーザの勤務時間帯における在席時間を集計することを特徴とし

、前記通知手段は、前記集計手段により集計されたユーザの勤務時間帯における在席時間
を通知することを特徴とする請求項1に記載のテレワーク管理システム。

【請求項3】

前記ユーザが在席していた時間帯、離席していた時間帯、勤務中である時間帯をそれぞれ時系列に表示する画面上に、前記集計手段により集計された勤務時間中ににおける在席時間を表示制御する表示制御手段を備えることを特徴とする請求項2に記載のテレワーク管理システム。

【請求項4】

前記在席状況取得手段は、撮影された画像を解析することで得られる在席状況を取得することを特徴とする請求項1乃至3のいずれか1項に記載のテレワーク管理システム。

【請求項5】

ユーザが勤務中である時間帯を記憶する勤務時間記憶手段を備える情報処理装置における情報処理方法であって、

前記情報処理装置の在席状況取得手段が、ユーザの在席状況を取得する在席状況取得工程と、

前記情報処理装置の在席時間特定手段が、前記在席状況取得工程により取得された在席

状況に基づき、当該ユーザが在席していた時間帯を特定する在席時間特定工程と、
前記情報処理装置の集計手段が、前記在席時間特定工程により特定された在席していた
時間帯と、前記勤務時間記憶手段に記憶された勤務中である時間帯とに基づき、当該ユー
ザの勤務時間および在席時間を集計する集計工程と、

前記情報処理装置の通知手段が、前記集計工程により集計された勤務時間および在席時
間を通知する通知工程と、

を備えることを特徴とする情報処理方法。

【請求項 6】

ユーザが勤務中である時間帯を記憶する勤務時間記憶手段を備える情報処理装置におい
て実行可能なプログラムであって、

前記情報処理装置を、

ユーザの在席状況を取得する在席状況取得手段と、

前記在席状況取得手段により取得された在席状況に基づき、当該ユーザが在席していた
時間帯を特定する在席時間特定手段と、

前記在席時間特定手段により特定された在席していた時間帯と、前記勤務時間記憶手段
に記憶された勤務中である時間帯とに基づき、当該ユーザの勤務時間および在席時間を集
計する集計手段と、

前記集計手段により集計された勤務時間および在席時間を通知する通知手段として機能
させるためのプログラム。